

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	PARC+ 西宮		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日 ～ 2025年 11月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日 ～ 2025年 12月 19日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・人的要素（スタッフ間連携） セラピストの配置（PT・OT・ST）	・個人にあった専門性のある支援 重心児、肢体不自由児へのケアやリスク管理などを評価して具体的に先生・保護者に伝えることができる	・学校連携（コンサルテーション） 専門職のさまざまな意見を学校側に伝えて、訪問しなくても可能な限り学校側のみで実施していただく
2	・行政連携 保育所等訪問支援や地域の会を通して学校・園との連携にて相互に成長（課題）や必要性を共有できている	・即時フィードバック スタッフが訪問時に即時フィードバックできる流れを作っている 行政（こども未来センター党）との密な連携を図っている	・職員のモチベーションや役割認識強化 子どもたちのためにできることを一人一人が考える時間や環境を確保していく
3	・訪問看護との連携 併設の訪問看護との連携にて併用利用などのメリットがある	・訪問看護利用児の学校連携 併用利用することで、家庭での様子やリスク管理の共有がしやすくなる	・評価体制の構築 持続的に支援が続くように可視化しやすい評価ツールを作成して学校園との連携を図る

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域ニーズを拾いきれない 依頼はたくさん来るが、対応できないのが現状	・人員不足 現状として、スタッフの人員が足りていない 個別性の高い療育のため一人一人の負荷は大きい	・人員を確保する 引き続き、就職説明会などPARCの魅力を伝える 求人活動を積極的に行う
2			
3			